

# 山村留学 八坂美麻学園

自然に学ぶ暮らしに学ぶ



公益財団法人育てる会

# 1968～育てる会

子どもが真の生きる力を獲得するには、  
様々な自然体験、生活体験の場が必要！



農家泊を中心とする週末や長期休みを利用した短期活動を展開(9年間)  
→年間を通じた体験の場を求める声

1976～大町市(旧八坂村)にて**日本初の山村留学制度スタート**



延べ1400人以上  
が巣立つ



**48年目(2023年度)**

# 八坂美麻学園の山村留学システム



山村留学センター

約2週間 約10日間



学園併用方式



地域ホームステイ(農家)



集団生活



四季折々の体験活動



地域の暮らし



文化体験



徒歩通学(3~5km)



学校

八坂小中学校・美麻小中学校



# 山村留学センター(やまなみ山荘)

◇10日～2週間ごと、年間約175日

◇**学園生31名** 小3～中3  
(小20・中11 男15・女16)

◇**指導員6名** 他、厨房スタッフ1名・指導補助1名(非常勤)

◇1年単位で留学 **継続平均2～3年**(継続19名・新入12名)

◇**集団生活・基本的生活習慣**の体得  
自律→自立 我慢・思いやり・作法



◇**四季を通じた全体活動**(農作業・自然体験・山村文化体験)  
→ 個々の興味関心を追求した**個人体験活動**へ



# 学校・通学

◇大町市立八坂小中学校(分離型義務教育学校)  
前期課程(1~6年)

11名(留学生)/52名(全児童数)

通学路:片道3.8km

後期課程(7~9年)

6名(留学生)/15名(全生徒数)

通学路:片道5.0km



◇大町市立美麻小中学校(義務教育学校)

14名(留学生)/98名(全児童生徒数)

通学路:片道2.5km→スクールバス



- ・「歩く」通学路
- ・小規模校ならではの特色ある教育
- ・コミュニティスクール(学校運営協議会制度)



# 地域ホームステイ(農家活動・山村生活)

- ◇10日～2週間ごと、年間約135日
- ◇現在7軒(八坂地区4軒・美麻地区3軒)
- ◇1家庭、2～6人の異年齢兄弟姉妹関係
- ◇家族の一員として1年間暮らす「父さん」「母さん」「～兄」「～姉」→家族になる体験
- ◇日々のお手伝いや週末の農作業、地域行事や年中行事にも参加し、農山村の「暮らしを学ぶ」





## 年間を通じた農作業（四季の体験・労働体験）



➡ 自然への畏れ・自然の恵み・食への感謝



自然の力を全身で感じるダイナミックな体験  
(北アルプス登山・キャンプ・船舶活動・古道歩き・スキー・雪遊び・・・)



➡雄大な自然の感動体験・自己に打ち克つ体験





農山村の暮らし・食文化(味噌づくり・野沢菜漬け・おやき作り・古民家生活・炭焼き・林業体験・・・)



➡受け継がれる文化や知恵・文化史的体験



蝶



星



樹木

個人体験活動: 個々の興味関心、個性特性に基づき体験を深める



暮らし



炭焼き



古道

「ここでしかできない体験」「自分の五感で体験」「～らしさ」  
➡地域に眠る体験材、受け継がれた知恵、自然の不思議や  
人の温かさを体感する



## 11月収穫祭

(個人体験と全体発表・伝統芸能表現・地域交流の場)



➡協力・達成・自己表現・感謝を伝える体験

# 学園生の心がまえ

1. 山村留学中は、いつも自分の足で歩くよう努力し、自然の中でたくさん活動し、「ここでしかできないこと」をたくさんします。
2. あいさつや、礼儀作法、言葉づかいに気をつけ、「自分のことは自分でやる」けじめのある生活をします。
3. 山村留学生活に必要なもの以外、必要以上に多く物を持たず、物を大切にし、無駄なお金を使わない「がまん」する生活をします。
4. 食事は好き嫌いなく、残さずよく味わって食べ、感謝の気持ちを忘れないようにします。
5. 自分のことだけでなく、相手の気持ちを考えながら過ごすように努力します。特に、周りで困っていたり、悩んでいる人のことをみんなで考え、お互いを認め合いながら、助け合って生活します。
6. 自分の目標をもって生活し、収穫祭や修園のときには、成長や成果を、自分の言葉と大きな声で堂々と発表します。

# 育てる会八坂美麻学園 山村留学の理念・目的

自然・暮らしの多様な体験

伝統文化・食文化 苦勞・知恵

親元から離れる 不便・不足

必要最低限の暮らし

異年齢での集団生活

基本的な生活習慣の体得

四季の自然

長い距離歩く

不満

自信・自立

感動・興味関心

子どもの中に形成される力

欲求不満に耐える力

「多少のことはがまん！」

他者の理解・受容する力

「人それぞれの物差しがある！」

活力・モチベーション

「自分はこれをするんだ！  
これがしたいんだ！」

子どもが 自分の もって生まれた個性に目ざめ 自信を持ち  
それを喜々として 自分の力で 育てていく

## ある修園生の声

私は山村留学に来る前、たくさんあること、満ち足りていることが幸せだと思っていた。テレビやゲームがあり、やりたいことを好きなだけやり、友達と楽しいだけの会話をし、ほしいものが手に入ること……。それらが理想形で完全な幸せの形だと思っていた。

しかし4年前、山村留学に行くことを決め、初めの2週間が過ぎたころ、軽い気持ちで飛び込んだ自分を呪った。寂しい。家に帰りたい、人間関係もうまくいかない……。それから**転機**が訪れたのは収穫祭(11月)前。演目である「はねこ」に熱中し、ひたすら練習した。**楽しい！**とそのとき初めて努力する楽しさや充実感を知った。満ち足りた環境では得ることのできない楽しさだった。

それから4年。4年間ではつらいこと、苦しいこと、逃げ出したくなる**ことがたくさんあった**。でもそれ以上に、乗り越えたときの**幸せや得られるものが大きいことを知った**。そして苦しさを乗り越える過程では、苦しさを**一歩踏ん張って耐えることが少しずつできるようになった**。

山村留学は「不」を学ぶ場所。全くその通りだと思う。不足や不満は私に**たくさんのものを与え、成長させてくれた**。来年私は都会での便利さがあふれた生活に戻る。それでも、この山留生活で気づいたこと、得たものを大切にしながら、**一歩一歩、前に進んでいきたい**。

春



夏



年間を通して、四季の移ろい・変化を全身で感じる日々

秋



冬



# 山村留学までのステップ

- ① 資料請求または説明会（東京都三鷹駅付近）への参加
  - \* 説明会への参加は必須ではありませんが、会場近郊の方はぜひご参加ください
- ② 現地での体験入園に参加（留学を希望される場合は必須です）
  - \* 1泊2日で、学園での生活体験と学校見学、指導者と懇談等
- ③ 願書請求
- ④ 親子面接会
- ⑤ 留学決定

## 年間費用

・・・小学生：約130万 中学生：約140万  
（入園金・施設教材費・月謝）

\* その他、個人消費にかかる費用（学用品・衣料品・医療費・PTA会費・学校給食費・特別活動費等）は月謝に含まれず、別途預かり金として、各学園にてお預かりし、必要に応じて支出の上、年度末に精算致します。

・・・年間15～20万程度



# 山村留学 八坂美麻学園

問い合わせ先：育てる会東京本部

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1丁目6  
番7号 朝日生命ビル5F

TEL : 0422-56-0151

FAX : 0422-56-0351

E-MAIL : mado@sodateru.or.jp

<http://www.sodateru.or.jp/>



公益財団法人 育てる会